

質問回答書

平成30年6月29日午後1時更新

入札番号	302016
案件名称	平成30年度サンライフ鶴巻外6施設劣化度調査等委託業務
質問回答 ①	質問 錆、被り調査は公的機関ではできません。公的機関には、訪問して鉄筋の錆や被りを調査するサービスはありません。第三者機関なら可能です。それでよろしいでしょうか。
	回答 錆や被りの調査については、公的機関試験を指定していません。
質問回答 ②	質問 コア抜き本数はそれぞれ内訳の本数とし、圧縮試験等は第三者機関と言う事でよろしいでしょうか。
	回答 コア抜きの本数は、内訳の数量とし、圧縮強度試験については、JIS A 1107・1108 に基づく試験が可能であり、試験機関として行政登録がされ、また試験場についても認定登録されているものを公的機関と判断します。
質問回答 ③	質問 仕様書3(1)、劣化調査は「判定手法」の1次調査によるため、その結果(1次調査)が『2次調査が必要』となった場合は、その旨をコメントすればよろしいのでしょうか。
	回答 仕様書に記載の2次判定まで行う施設は「サンライフ鶴巻」と「ほうらい会館」の2施設です。その他の施設については、質問のとおりです。

質問回答 ④	質問
	仕様書 3 (1)、保守委託点検を行っている機器類は、各施設どのようなものがありますか。
質問回答 ⑤	回答
	契約した業者へ報告します。
質問回答 ⑥	質問
	仕様書 3 (1)、各部位の劣化度判定と劣化進行予測ならびに修繕時期、修繕にかかる概算費用の推計は、劣化度調査業務 B の施設に対して行うのでしょうか。
質問回答 ⑦	回答
	すべての施設において行います。
質問回答 ⑧	質問
	仕様書 3 (1)、対象建物の共用年数は、何年と考えたらよろしいでしょうか。
質問回答 ⑨	回答
	共用年数は業務仕様書 2 調査建物概要の建築年度を参照して下さい。
質問回答 ⑩	質問
	仕様書 3 (1)、各部位、機器類の耐用年数は法定耐用年数と考えてよろしいでしょうか。
質問回答 ⑪	回答
	法定耐用年数とは限りません。
質問回答 ⑫	質問
	仕様書 3 (1)、建物の長期修繕計画と考えてよいのでしょうか。
質問回答 ⑬	回答
	長期修繕計画も含まれるものとして考えてください。
質問回答 ⑭	質問
	仕様書 3 (1)、外壁の補修工事の場合、仮設工事も含まれますか。
質問回答 ⑮	回答
	仮設工事も含まれます。

質問回答 ⑩	質問
	<p>仕様書 3 (1)、コンクリートの圧縮強度と中性化から寿命を推計する際の内部鉄筋のかぶり厚さは、どのように設定すればよろしいでしょうか。</p> <p>また、中性化から考えられる寿命は腐食確率によるものかと思いますが、本業務の調査項目に内部鉄筋の錆状況の確認は含まれていないことから、現状の内部鉄筋は健全であるものと仮定してよろしいでしょうか。</p>
質問回答 ⑪	回答
	<p>鉄筋時の被り寸法は、建築工事標準仕様書に基づき、30mm を基本と考えています。鉄筋腐食に伴う被りコンクリートの剥落は、各施設とも確認できませんので、現時点では健全であると推測しています。</p>
質問回答 ⑫	質問
	<p>仕様書 3 (1)、各施設の劣化の進行を抑制する最適な工法を 1 案以上提案とは、耐震診断実施済みの (4) みどりこども園、(5) すえひろこども園および耐震補強工事済みの (7) 大根小学校の 3 施設 4 棟に対してと考えてよろしいでしょうか。</p>
質問回答 ⑬	回答
	<p>劣化の進行を制御する適切な工法を提案する施設は 7 施設すべてです。みどりこども園、すえひろこども園、大根小学校の 3 施設 4 棟に対しては、既存のデータを利用して、より精度の高い建物の耐用年数を算出し、最適な工法を提案してください。</p>
質問回答 ⑭	質問
	<p>上記の最適な工法の概算費用の算定における単価等の指定はありますか。</p>
質問回答 ⑮	回答
	<p>指定はありません。</p>

質問回答 ⑬	質問
	<p>仕様書 3 (2)、サンライフ鶴巻について、天井について調査した結果を構造計算により検討するとありますが、調査の結果、天井構成部材の材料強度等が明確でない部材は、どのように強度設定を行えばよろしいでしょうか。</p> <p>地震時に天井材の落下の危険性の判定は、告示 771 号に規定する天井構成材の仕様規定を確認すればよいと思っております。落下防止対策としては、構造計算を伴う方法もあると思っておりますがそのような解釈でよろしいでしょうか。</p>
	回答
質問回答 ⑭	<p>設計図書において、構造部材については部材リストで使用鋼材やメンバーは確認できます。天井下地の軽量金物は記載がなく確認できません。また、クリップやハンガーなどは新築当時のものだと思います。</p> <p>現状の天井構成部材のままでは、仕様ルートや、計算ルートに適合しないと考えられます。改修工事を想定し、構造部材や下地部材の補強や交換など考慮のうえ適正な手法を選択することとします。</p>
	質問
	<p>仕様書 3 (2)、E V 設置に伴い建物全体の安全性の検討は、考察まででよろしいでしょうか。補強案、概算工事費までは必要ないと考えてよろしいでしょうか。</p>
質問回答 ⑭	回答
	<p>補強が必要となった場合は、補強案を検討する必要がありますが、概算工事費は不要です。</p>